

長期政権を目指す安倍首相の野望と課題

ノンフィクション作家・評論家
塩田 潮

- * 解散で危機を突破した安倍政権
- * 安倍首相の素顔に安堵した米国
- * 狙った黄金の2年3か月
- * 簡単にはいかな安全保障の法整備
- * 結局、ミクロ政策には切り込めない
- * 安倍首相の「口ほどでもない」部分
- * 安倍内閣を支える女房役の実像
- * 悲願の憲法改正実現の可能性は？
- * 甘すぎる岡田民主党の自己評価
- * 安倍政権にも死角は存在する



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
先週は連休でお休みをいただきました。今日もまだ連休中の人もいるかもしれませんが、倶楽部としては連休明けということで再開させていただきます。

今日は一年半ぐらい間があきましたけれども、塩田先生に来ていただきました。一昨年暮れに2014年の政治の見通しをお話しいただいたわけですが、先生は4月末に『内閣総理大臣の日本経済』というご著書をお出しになりました。それで、ぜひ書店でお願い求めたいと思います。

安倍政権も長期化するとか、安定政権だとか言われております。しかし、私の知っている限りでも、そう言われ始めたときが危ない時でも

あります。皆さんの中には、あまり長期化してほしくないと思っている方もいらっしゃると思いますが、今日は目先のことではなく、政治の深いところからお話をいただけだと思います。それではよろしくお願いたします。（拍手）

解散で危機を突破した安倍政権

塩田 前回こちらでお話をさせていただきましたのは2013年12月でした。

前回は、2014年の政治を占うという趣旨のお話をさせていただきましたが、あのとき、2014年は安倍政権にとってかなり厳しい年になる、危機が訪れるだろうと申し上げました。もう終わった1年を振り返りますと、去年4月の消費税増税の悪影響が出て成長率が悪くなっ